

2022年 3月10日 号

発行 建交労福島県農林支部

福島市渡利字岩崎町 39-9

Tel【024】521-2810

Fax【024】522-8023

農林支部ニュース

ロシアのウクライナ侵略に抗議するスタンディング行動に参加しました。



3月2日、お昼の時間帯に、わたり病院前の道路でロシアのウクライナ侵略に抗議するスタンディング行動が福島医療生協主催で行われ農林支部も菅野副執行委員長、加藤執行委員、安増執行委員の3名で参加しました。約100名の参加があり戦争を許さないという皆さんの熱意を感じるスタンディング行動となりました。

3月10日、お昼の時間帯に春闘全国統一行動として福島市のAXCビル前で「大幅賃上げ」と「ウクライナ侵略やめよ」を訴えるスタンディングが県労連主催で行われました。農林支部からは山田書記長と加藤執行委員、安増執行委員の3名で参加しました。



ウクライナ市民への人道支援募金にご協力下さい！！
農林支部は「侵略戦争は直ちにやめよ、ロシア軍は撤退せよ」の声を上げるとともに人道支援募金に取り組んでいます。組合へ来所の際はどうぞご協力をお願いいたします。

建交労 2022 年春闘総決起集会開催

3月2日、建交労 2022 年春闘総決起集会が開催されました。福島農林支部からは加藤執行委員と安増執行委員がオンラインで参加しました。角田委員長の挨拶ではロシアのウクライナ侵攻への抗議と今年の春闘で経済を立て直すこと等、9名の仲間から決意表明があり、今年の春闘へ向けて決意を新たにしました。また、前回皆さんにご協力頂いた「労働者の労働条件確保等に関する請願」署名は全国から 3339 筆集まったことも報告されました。ご協力ありがとうございました。

労災職業病部会 2022 年中間会議 開催

3月10日、労災職業病部会の中間会議が開催されました。農林支部からは山田書記長、菅野副執行委員長、安増執行委員がオンラインで参加しました。



山田書記長が福島原発生業訴訟と昨年行った相談会について発言しました。

会議の中では、じん肺根絶訴訟のたたかひに関する講義とアスベスト給付金に関する講義があり知識を深めました。また全国の仲間からの発言では、活動への取り組みについてコロナ禍の中、苦勞しながらも様々な創意工夫を凝らしながら組合員拡大や医療機関開拓をしていることを聞き励まされる会議となりました。

～署名へのご協力をお願いします～

・「憲法改悪を許さない全国署名」

今、日本国憲法を改悪しようという動きが強くなっています。おりしもロシアによるウクライナ侵略があり、それを口実に戦争放棄、戦力の不保持を明記した憲法を変えて戦争のできる国にしようとしています。しかし、太平洋戦争が終わるまでの長い年月、戦争を経験したわが国では、武力対武力がどんな悲惨な結果をもたらすか知っているはず。ひとたび戦争が起これば、憲法で保障されている私たちの人権は保障されなくなります。必要なのは憲法を改悪することではなく、憲法を守り、生かした政治を実現することではないでしょうか。ご家族、ご友人にも声をかけて頂き、できるだけ 5 筆書いて同封した返信用封筒でお送り下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

建交労じん肺遺族補償不支給取消訴訟

国が上告を断念！

4 人の遺族原告の勝利が確定しました！

この裁判は、建交労長崎分会のじん肺・続発性気管支炎で労災療養を受けていた組合員がじん肺・間質性肺炎で死亡し、遺族 4 名が遺族補償申請をしたところ、「特発性非特異性間質性肺炎」とし、じん肺とは関係ないとの理由で長崎労基署が不支給決定をし、その後、審査請求も棄却され、遺族が国の行政決定の取り消しを求めて平成 28 年に長崎地裁におこしたものです。長崎地裁では原告勝訴の判決でしたが国は福岡高等裁判所に控訴しました。しかし福岡高等裁判所でも原告が勝訴しました。3月8日、国は上告を断念し提訴から約 6 年やっとな勝利が確定しました。裁判所への要請ハガキへご協力頂いた皆様ありがとうございました。